

穂の上のまち



た報

けんぱ

第10回 穂原町の音楽祭



オーケストラがやってきた in 芸術祭 (詳細は次号掲載予定)

●発行所 / 高知県高岡郡穂原町役場 tel.0889-65-1111 ●発行兼編集 / 穂原町広報委員会 ●印刷所 / (有)中島出版印刷

環境にやさしい“SOYINK”を使用しています。

11 月号

2015
〈平成27年〉
No.689

●世帯数	1,806 (10月初)
●人口	3,676 (10月初)
○出生	1
○死亡	5
○転入	8
○転出	6

栲原病院・保健福祉 支援センター

開設20周年記念行事

10月24日（土）ゆすはら座で栲原病院・保健福祉支援センター1開設20周年記念行事を開催しました。

開会行事では、矢野町長の開会挨拶の後、須崎福祉保健所保健監北村磨知子様、町議会議長土釜清様より御祝辞をいただきました。

歴代院長による ディスカッション

第一部では、内田望院長がコーディネーターとなり進行。ゲストの元院長阿波谷敏英氏、前院長の的場俊氏を紹介すると、懐かしいお二人の登場に参加者は笑顔になりました。

始めに、現在の仕事についてお話を伺うと、阿波谷氏は、「高知大学医学部で学生に地域医療を教えている。栲原での経験が役に立っており、当時の話を学生に授業の中で話したりしている」。的場氏は、「県立あき総合病院で、総合診療内科に所属し、地域医療と若手医師の養成・教育の仕事をしている」と話されました。



昔の話では、「栲原診療所の頃は、エレベーターがなかったので、患者さんを担架で2階の病室まで運んでいた。新しく建設する病院にエレベーターが入ることを喜んだ。病院の名前もあれこれ検討した。」など当時の秘話を、阿波谷氏が語られました。

的場氏は、栲原の思い出の写真として、雪かきの写真を出し「当時、病院事務長の朝一番の仕事は、雪かきだった。車庫から車が上がれないと、診療に出られないので、とても重要な仕事だった。」と語りました。

事だった。」と、思い出を話されました。

また、平成15年度には、共演した3人が栲原病院で共に勤務されており、内田院長は「あの時は楽しかったですね。忙しい中でしたが、このメンバーでよく飲みましたね。」と懐かしそうに語りました。

将来の栲原に望むことについては、的場氏が「栲原町の保健・福祉・医療の連携は、かゆい所に手が届く支援体制ができています。栲原町から外に出て、改めてその素晴らしさを感じた。栲原は都会のように物は揃わないかも知れないが、自然や地域の支え合いなど、逆に充実していることの方が多い。自慢して欲しい。」

阿波谷氏は神在居の棚田を例にあげ、「長い年月をかけて、先人が守り築いてきたもの、栲原の地域医療、保健・福祉の連携は、推進員制度など長い歴史のなかで培ってきて出来たもの、棚田と同じ。将来自分の教えている学生がさまざまな地域で栲原を真似して活躍して欲しい。」

いと願っている。」と語られ、内田院長が、「栲原の住民の力はすごいですよ。今日は、栲原だけでなく、地域医療の将来についてもお話いただきました。」と二人の先生に感謝の意を述べて対談は終わりました。

太郎さん物語(完結編) 天国に旅立った太郎さん の目に映ったものとは

第二部では、町民による手作りの劇を上演しました。平成12年度に介護保険制度を町民の方々に分かりやすく伝えることを目的に一回目の劇を公演してから、今回で四回目。平成23年度に公演した前作では、在宅で家族に見守られながら太郎さんは天国へ旅立ちました。



今回は、その太郎さんのいる天国の場面から始まりました。幕が開くと、そこは天国。実在した町民や元町長役等が、天国で下界の家族のことを思い、会話をしているという内容で、「おらは死んじまったよ♪」と明るく歌うシーンでは、明るい天国の様子に会場から笑い声が聞こえていました。

場面は下界に。残された花子さんが体調不良となり、近所の人の勧めで栲原病院を受診、大腸がんであることが分かりましたが幸い早期発見で治療することができました。元気になって帰ってきた花子さんの家には、近所の住民や保健師、社協職員など次々と花子さんの様子を見に訪問。太郎さんの思い出話やこれからの栲原について会話を弾ませました。



幕間では、内田院長がスライドを使い日本人の死因の内訳や命のバトンについて解説。「自分が生まれてくるまでに、どれだけの人が関わっているのか。10代前で1024人、20代前だと100万人を超える。生まれてきたことは、奇跡か偶然か？ 神秘ではないか。」と、遠い昔からつながっている「命」について話しました。



花子さんが「じいさんよ。みんなのこと見守っちゃってよ。」と天国の太郎さんと呼びかけ劇は終わり、幕が閉まると司会者は「私たちは今を生きています。少しでも早く天国に旅立った方々も、今きつとどこかで生きている、そんな気がするんです。この土地を、梶原を、そして命をうまく引き継いでいきたいですね」と劇を締めくくりました。



終了後、参加者からは、「先住たちの熱い思いを感じました。」「久しぶりにたくさん笑いました。」「高齢になってからの生き方、終末について前向きに考えるヒントになりました。」と感想をいただきました。劇に出演された町民の方々は、連日熱心に練習に参加いただきました。ありがとうございました。

これからも、梶原病院・保健福祉支援センターがあつてよかったと言っていただけけるよう、地域の皆様と共に取り組んで参りますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

ゆすはらグルメまつり 土佐牛まるかじり大会



9月26日(土) 27日(日)にゆすはらグルメまつり及び土佐牛まるかじり大会が開催されました。

グルメまつりでは愛媛・高知・梶原から40店以上の事業者に出店いただき、ご当地グルメでご来町いただいた方々をおもてなしすることができました。

1日目の後半は雨に見舞われましたが2日目は晴天に恵まれ、汗ばむほどの暑さを感じるなか、訪れた方々はお目当てのグルメに行列をつくり両県の食を満喫し、会場は大変な賑わいとなりました。

また、梶原川の河原を会場に29回目となる「土佐牛まるかじり大会」が行われ土佐牛を炭火焼バーベキューで堪能いただいたほか、梶原川に設けたアメゴつかみどりコーナーでは、捕まえたアメゴをその場で焼いて食べられるとあって大勢の家族連れらに楽しんでいただきました。

今年は2日間で両会場合わせて約30,000人もの方々にご来場いただきました。駐車場やシャトルバス乗り場での混雑等がみられたものの、事故等もなく好評のうちに終了することができましたのも、町内各種団体、事業者の方々が連携し、おもてなしの心をもって対応いただ

いたからだと感じております。今後もグルメまつりをはじめとした様々なイベントにおいても、今回の反省を生かし、次に繋げていけるよう、取り組んでまいりますので、町民の皆様のご指導、ご支援をお願いいたします。

ゆすはらグルメまつり
土佐牛まるかじり大会

実行委員会会長 新谷章男
(梶原町商工会会長)



平成27年度高知県消防操法大会



10月11日(日)、いの町の高

知県消防学校グラウンドで、平成27年度高知県消防操法大会が開催されました。今大会には、8月に開催された高陵消防連合演習において、小型ポンプ操法の部で優勝した梶原消防団第5分団が出場し、準優勝というすばらしい成績を挙げました。

大会は、「自動車ポンプの部・小型ポンプの部」とあり、消防団員の操法技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実発展に寄与する事を目的として2年に一度開催されており、県内各地区の予選を勝ち抜いたポンプ車操法及び小型ポンプ操法を各18消防団で優勝を競い合いました。小型ポンプ操法優勝団は、来年10月に長野県で開催される、全国消防操法大会への出場が掛かっており、レベルの高い大会となりました。

第5分団の選手は、高陵消防連合演習後、県大会優勝という同じ目標を目指し、週3回、仕事を終えた後の練習の他、高知県消防学校へ通い操法の指導を仰ぎ練習を重ね、大会に臨みま

した。

審査員の「操法開始」の合図と共に、指揮者が指揮位置に移動し「集まれ」の号令、20mホース3本を結合し延長、63m先の標的を倒し標的が倒れた後、元の位置へ各選手が戻り、指揮者の「別れ」まで選手の一挙手一投足が審査されます。協議終了後、会場内に流れる放送で「梶原消防団の得点89・07点。タイム40・92秒」と結果発表に、会場内が大きな拍手と歓声に包まれました。



結果、第5分団は練習の成果

をいかんなく発揮し、仁淀川町消防団に2点の僅差で準優勝となり、優勝こそ逃しましたがタイムは参加消防団中、最短タイムで競技を終えました。

近年の入賞や前大会での優勝、今大会での準優勝の実績から技術は高知県下でもトップレベルであり、更に高知県代表が全国消防操法大会で常に優勝及び入賞している事を考慮すれば、全国レベルに達しています。今大会の準優勝は、選手の努力

力のもとより、ご家族の協力と地区住民、町民の方々のご声援と励ましに支えていただいたおかげであり、今後におきましても、梶原消防団員一丸となり、操法技術の向上はもとより、地域の防火防災に尽力致しますので、さらなるご支援をお願いします。

競技結果

自動車ポンプ操法の部

- 優勝 仁淀川町
- 準優勝 越知町
- 第三位 日高村
- 敢闘賞 本山町
- 高知市
- 四万十町

小型ポンプ操法の部

- 優勝 仁淀川町
- 準優勝 梶原町
- 第三位 本山町
- 敢闘賞 高知市B
- いの町
- 高知市A

第5分団選手紹介

- | | | |
|-----|----|--------|
| 指揮者 | 団員 | 片岡 晃一 |
| 1番員 | 団員 | 二神 貴登 |
| 2番員 | 班長 | 隅田 雄策 |
| 3番員 | 団員 | 中越 芳彦 |
| 補助員 | 班長 | 中越 樺寿樹 |



秋の叙勲

日向國雄氏

瑞宝小綬章受章

平成27年度秋の叙勲受章者が11月3日に発表され、梶原町一貫教育支援センター幼児教育アドバイザーの日向國雄氏(70)が教育功勞によって瑞宝小綬章を受章されました。

日向氏は、大学で史学を専攻した後、時間講師として赴任した高知若草養護学校での勤務をスタートに、各地の特別支援学校で教壇に立たれて来られました。また、信条を「二人ひとりと向き合う」ととされ、「子どもは千差万別。型にはめたり、決めつけたりは駄目。教師は子どもに対して真摯に、まっすぐに。」を大切にされています。

日向氏は、平成25年9月3日から梶原町幼児教育アドバイザーとして任用され、こども園の教諭への指導・助言、保護者への子育て、幼小連携の推進等にご尽力していただいております。



脱藩 MARATHON 2015
100 YEARS ORAL HISTORY OF YOSHIDA

第4回龍馬脱藩マラソン大会

今年一番の寒さの中、1388名の選手が脱藩コースを駆け抜けました！

龍馬脱藩マラソン大会は、梶原町の歴史的遺産である龍馬脱藩の道を利用し、地域住民及び関係団体並びに行政機関が協働し、町の宣伝や地域の活性化につなげることを目的として、平成23年度より開催しています。

前夜祭

10月10日(土)、参加選手相互の交流が図れるよう、選手や家族の方など107名とスタッフによる前夜祭が行われました。

オープニングは、梶原高校デイスカバークラブによる津野山神楽の公演があり、そのあとゲストランナーとして迎えた間寛平様と坂本雄次様、そして本日の司会を務めていただくテレビ高知の藤崎アナウンサーとのトークショーでは、会場を沸かせるなど参加者全員が楽しく交流を深めました。

大会当日

11日(日)、朝から今にも雨が降りそうな曇り空の下、1都

1道2府29県から1388名(申し込み1583名)の参加をいただき、盛大に第4回龍馬脱藩マラソン大会が開催されました。



川上実行委員長の挨拶

開会式は、役場駐車場で行われ、第4回龍馬脱藩マラソン大会川上光章実行委員長の開会宣言、矢野富夫名誉会長の歓迎挨拶に続き、友好交流協定を結んでいる西宮市副市長松永博様、梶原町議会議長土釜清様から祝



選手宣誓をする石橋局長

辞と参加者への激励の言葉をいただきました。最後に、選手宣誓は、本日のフルマラソンに出場する国土交通省四国地方整備局長石橋良啓様が行いました。

また、来賓紹介ではゲストランナーの間寛平様と梶原未来大使でもある坂本雄次様から、ユーモアたっぷりの挨拶をいただきました。

開会式後、9時にフルマラソンの部が葦ヶ峠脱藩コースを指してスタートしました。続いて9時30分にハーフの部が下組折り返し、10時に10kmの部が宮野々折り返しのコースに向けて、各選手がスタートしていき



間寛平さんと坂本雄次さんの挨拶

ました。葦ヶ峠付近では冬並みの寒さと雨が時折強く降る中、町民の温かい応援と、各給水所では梶原学園、梶原高校の生徒さんによる声援が選手たちを温かく迎え、選手たちは思い思いのペースで梶原町の町を駆け抜けました。

また、ゴール付近では、梶原高校生によるメダル贈呈、選手写真のプレゼント、野球部によるハイタッチでの声援等、様々でした。

表彰式は、その都度行われ、各部門3位までの選手にメダル、6位までの選手に賞状が授与されました。友好都市特別賞には、西宮市からフルマラソンに参加した高坂恭子選手、梶原町の森田悟・和枝選手が選ばれ、西宮市松永博副市長から記念の楯が贈られました。



脱藩ルートを疾走するランナー

また、友好町村の盟約を結んでいる奈良県の東吉野村から9名の選手が参加され、その中で1名の方がハーフマラソンで3位に入賞をしました。

各区長を中心に町内各種団体(梶原町商工会・津野山農業協同組合・梶原町森林組合・梶原消防団・梶原町婦人会・梶原龍馬会・梶原体育指導委員会・梶原町体育会・梶原女性消防隊・役場OB会、梶原学園・梶原高校等)の多くのボランティアの協力のもと開催でき、また沿道や田畑から手を振りながら、温かい声援をいただいたことにより、大会が盛り上がり、参加選手から高評価を得たと思います。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。選手心から感謝申し上げます。選手の皆様お疲れ様でした。

大会結果

各部門の優勝者は次の通りです。

「10kmの部」男子

●18～49歳

竹田 良太（高知市）
38分11秒

●50歳以上

井上 数正（愛媛県）
1時間9分37秒

「10kmの部」女子

●18～49歳

福原 千帆海（安芸市）
42分48秒

●50歳以上

松田 紀美代（吾川郡）
52分13秒

「ハーフマラソンの部」男子

●18～49歳

山崎 竹丸（高知市）
1時間17分25秒

●50歳以上

嶋田 賢司（高知市）
1時間23分13秒

「ハーフマラソンの部」女子

●18～49歳

楠 真美（愛媛県）
1時間31分46秒

●50歳以上

相原 直美（愛媛県）
1時間44分50秒

「フルマラソンの部」男子

●18～49歳

時谷 勇介（愛媛県）
2時間42分31秒

●50歳以上

武林 秀幸（香川県）
3時間12分28秒

「フルマラソンの部」女子

●18～49歳

合田 睦美（愛媛県）
3時間19分7秒

●50歳以上

大本 明子（神奈川県）
3時間59分6秒



鯛やき君?のゴール

間伐・造材技術講習会の開催

梶原町森林組合

10月9日（金）に、間伐・造材技術講習会を開催しました。

この講習会は、森林の成熟化に伴い従来の人力作業での搬出は困難な状況の中で、林内路網を活用した機械化による搬出が必要になってきていることから、原木搬出に必要な林業機械導入に対する支援内容と、梶原町水源地域森林整備交付金を活用した林業所得増に繋がる間伐・造材を行うことを目的に開催し、組合職員を含め20名が出席しました。

3mに造材した場合と、直材が取れる3m、4mとに造材した場合の立木一本当たりの販売額の違いについて説明を行いました。

当日は、始めに組合職員が町交付金と造林補助事業を活用した森林整備への取り組みと、原木搬出に必要な林業機械導入に対する支援内容、安全装備を備えた作業方法等について説明を行いました。

現地講習が終わった後、須崎林業事務所、西岡振興課長から、自伐林家の方々と組織する高知県小規模林業推進協議会の内容と、加入後のラジキヤリー等搬出機械リース料や安全防具購入などに対する支援制度について説明していただきました。

その後、初瀬本村の現地講習会場へ移動して、定性間伐と列状間伐における間伐率の測定方法の違いや、かかり木を実際に再現した、フェリングレバーでの処理方法の実技を行った後、伐倒した一本の長材で大曲材を除いて全て

直材と違って造材をしても、小出しをしてみれば曲がっているのが実情で、なかなか見極めるのが難しいとの意見や、安全防具に対する質問やフェリングレバーを購入してより安全作業を行おうとする方もおられました。

組合では、組合員の労働安全に関わる安全防具対策や小規模林業推進協議会への加入等について、資料を事務所の窓口にご提供いたしますのでお気軽にご相談ください。

林業退職金共済制度(林退共)からのお知らせ

林業の仕事をしていなかったことがありますか？

林退共制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

以前林業の仕事をしていたが、ご自分が林退共へ加入していたか分からない方についてもお調べいたします。また、羅災された共済契約者及び被共済者の皆様に対し、各種手続(共済手帳の紛失、退職金の請求等)の必要が生じた場合はできる限りの範囲において速やかに対応したいと考えておりますので、下記お問い合わせ先へご相談くださいますようお願いいたします。

独立行政法人勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部 ☎03-6731-2887 FAX 03-6731-2890
詳しくはホームページでもご案内しております ▶ <http://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp>

成人式はふるさとで

平成28年度の成人式を1月3日に行います。

成人になられる皆さんのご活躍を期待し、心からお祝いを申し上げますとともに、一人でも多くの方がふるさとで成人式を迎えることができますよう該当される方々の氏名を掲載させていただきます。氏名が漏れていたり、字等に誤りがありましたら、お気軽にご連絡ください。また、次の名簿に氏名のない本町出身で、町外に在住している方も参加できますので、生涯学習課までお知らせください。

【問い合わせ】
梶原町教育委員会
生涯学習課 ☎65-1350

成人式該当者(敬称略)

今城	壮樹	川上	夏実	岡本	和也	坂本	あかり	片岡	竜一	坂本	和	川上	冨希	佐竹	凪	来米	涼介	戸梶	由貴	寺元	拓也	中越	朱音	徳弘	一成	中越	小春	中越	大和	中越	麻由	中越	彬	中越	萌	西村	湧人	松田	愛里	広瀬	竣平	松田	真莉亜	山本	晃昌	明神	愛里沙	市川	乃花	森田	美咲	氏原	梨奈	森山	晃実	岡田	葵	森山	真紀	掛橋	侑永	若宮	愛実
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	---	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	---	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----



よろしくお願ひします

新採・転入 職員紹介

- ①出身地
- ②勤務先・職名
- ③趣味
- ④町職員としての夢や抱負

10月1日より、ゆすはら応援隊の職員として採用されました。

内城 裕希

(うちじょう ゆき)



- ①大阪府
- ②ゆすはら応援隊
- ③読書
- ④皆様のお役に立てるよう、に精一杯努力します。ので、何卒よろしくお願ひ致します。

12月の保健福祉支援センター行事予定

- 1日(火) 愛育相談
- 2日(水) 陽だまり健康相談
- 3日(木) 松原サテライト
- 4日(金) 初瀬いきいき
人権・行政相談(梶原病院3階)
- 7日(月) インフルエンザ(夜間接種)
- 8日(火) インフルエンザ(四万川診療所)
- 10日(木) 越知面デイ友の会
インフルエンザ(全地区対象)(夜間接種)(松原診療所)
- 11日(金) 四万川託老所
- 15日(火) バリアフリークリスマス会
- 16日(水) あゆみの会(忘年会)
- 17日(木) インフルエンザ(全地区対象)
- 18日(金) 東区いきいき
- 24日(木) インフルエンザ(全地区対象)

※毎週月曜日…予防接種日：不活化ポリオ、三種混合、四種混合、麻疹・風疹、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう

※インフルエンザの日程については、部落回覧や行政放送等でご確認ください。

※毎週水曜日…陽だまり、育児サークル

※ゆすっ子相談センター相談日…1日(火)午後、15日(火)午後、22日(火)終日

※川畑 真理子 心理カウンセラー相談日…22日(火)

チーム梼原

第62回よさこい祭り参加

皆様の温かいご支援、ご協力を賜り、第62回よさこい祭りに、13年連続出場を果たすことが出来ました。

当日は、踊り子108名、スタッフ28名、総勢136名が、梼原の名のもとに集い、熱気に揺れる高知の街を踊り抜けました。今年、韓国から大学生15名の参加があり、チームを盛り上げていただきました。

昨年は、台風11号上陸の影響により、8月9日の前夜祭が中止となるなど、県内各地で浸水被害等が起こり、本祭の開催が危ぶまれる状況となりましたが、今年、晴天に恵まれ、高知市内は見事に晴れ渡り、全国各地から訪れる踊り子を迎えて、高知の街が熱気に包まれました。

チーム梼原は、10日から11日にかけて演舞を行い、延べ15会場で、梼原のよさこい神楽を披露しました。

炎天下の中で、沿道には多くの方々がかけてくださったり、温かい声援を送っていただきました。

した。

チーム梼原は、「梼原の魅力を、まず梼原に暮らす私たち自身が学び、掘り起こすこと」「そして、梼原の宝を絶やすことなく受け継いでいきたい」との思いから、スタートいたしました。梼原への誇りを自らの行動をもって培い、そして、子どもたちや若者が胸を張って梼原のことを語る事ができるようにとの思いがあります。平成15年の発足当初から今日まで、さまざまなか場面でご支援をいただき、町内外の方々との出会い、チームに参加する一人ひとりが成長する機会をいただきました。

町外に暮らしていても梼原を愛する方々との交流によって、改めて梼原の名のもとに集い、同じ目標に向かって過ごした仲間との時間は、私たちにかけがえのない学び場を与えていただいています。

改めて皆様との出会いに感謝し、そして、梼原の大切さ、尊さを学ばせていただいておりますことに心からお礼を申し上げます。



こうした学びを大切にし、ふるさと梼原を愛しむ心を積み重ねながら、一步一歩取り組んで行きたいと考えております。



参加者全員での記念撮影

につぼんど真ん中祭りへ参加

8月30日(日)に、愛知県名古屋市中区で開催された「につぼんど真ん中祭り」に、総勢45名で出場しました。

愛知県へは、29日の早朝に梼原を出発。バスで移動をしながら、8時間かけて、名古屋市内へ。熱気あふれる名古屋市内の3会場で、梼原のよさこい神楽を演舞しました。

また、愛知県で生活されている、町出身者の方々も応援にかけつけてくださり、勇気と元気をいただきました。

最後になりましたが、チーム梼原のよさこい祭り参加に對しまして、多大なご支援、ご協力をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

梼原町よさこい祭り実行委員会



名古屋市の祭りに参加

12月の行事予定

- 4日(金) 人権相談・行政相談
- 12日(土) 環境整備デイ
- 16日(水) 梼原学園校内持久走大会
- 20日(日) 梼原町交通安全の日
- 25日(金) 梼原学園2学期終業式
- 27日(日) 消防団年末警戒パトロール(30日まで)

ニホンウナギの保護について

県内の河川や湖などの内水面では、資源の減少が心配されているニホンウナギを保護するため、10月から翌年3月までの間、高知県内水面漁場管理委員会指示によりニホンウナギを獲ることが禁止されております。ニホンウナギの資源回復に向けまして皆様のご理解、ご協力をお願いします。

【問い合わせ】

高知県漁業管理課
(高知県内水面漁場管理委員会事務局)
088-821-4608

インフルエンザ予防接種のご案内

梶原町でのインフルエンザの予防接種の日程は左記のとおりです。

【目的】

ワクチン接種は、感染を100%防ぐものではありませんが、重症化や死亡を予防するのに有効であり、基礎疾患を有する方など重症化しやすい方について接種を勧奨しています。

日頃から感染予防対策が重要です

- 手洗いやうがい
- 人ごみを避ける
- 休養とバランスの良い食事
- マスクの着用

【接種回数】

- ① 1歳～13歳未満は原則2回接種
- ② 13歳以上は原則1回接種

【梶原町での接種予定日】

梶原病院
12月10日(木)・17日(木)・24日(木)

松原診療所

11月26日(木)・12月10日(木)

実施時間

午前9時～午前11時30分

四万川診療所

11月24日(火)・12月8日(火)

実施時間

午後1時30分～午後3時

★梶原病院での実施時間や対象者等につきましては、配布しております日程表をご確認ください。

【その他】

学校や仕事の都合で予定日に接種できない方は、梶原病院で夜間午後5時30分～午後6時30分受付(1日当たり150名予約制)で接種を行います。その際、保険証を必ずご持参ください。

【日程】

12月7日(月)・10日(木)

詳しくは、梶原病院にお問い合わせください。(夜間接種につきましては、梶原病院に予約をお願いします)
☎0889-65-1151

【電話予約の受付時間】

平日の午前9時～午後5時まで

【夜間接種以外の問い合わせ】

梶原町保健福祉支援センター
健康増進係
☎0889-65-1170

(IP *65-1170)

※予診票を病院受付、保健福祉支援センターに用意しております。

平成27年度 高等工科学校 募集案内

募集種目	資格	願書受付期間	試験期日	合格発表
高等工科学校生徒(一般)	平成28年4月1日現在 中卒(見込含)～ 17歳未満の男子	平成27年11月1日(日)～ 平成28年1月8日(金)まで (締切日必着)	〈1次〉 平成28年1月23日(土) 〈2次〉 平成28年2月4日～7日 (内1日を指定)	〈1次〉 平成28年1月29日(金) 〈2次〉 平成28年2月19日(金)
高等工科学校生徒(推薦)	平成11年4月2日～ 平成13年4月1日までに 生まれたもの	平成27年11月1日(日)～ 平成27年12月4日(金)まで (締切日必着)	平成28年1月9日(土)～ 平成28年1月11日(月) の間の指定する1日	平成28年1月20日(水)

●高等工科学校生徒の概要

将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる者を育成するために、中学校卒業者を対象に採用する制度で防衛省所管の学校です。

●教育及び卒業資格

高等学校普通科と同等の教育(一般教育)を受け、併せて技術的なスペシャリストとしての専門教育、そして陸上自衛官として必要な防衛基礎学や各種訓練を受けることになります。3学年終了時には提携校である神奈川県立横浜修徳高等学校(通信制)の卒業資格が得られます。卒業後は、所定の教育を経て全国の陸上各部隊へ配置されます。また、試験に合格した一部の生徒は、防衛大学校や航空学生(海・空)等の道に進みます。採用予定数は、一般試験が約260名、推薦試験が約60名です。

●生徒の処遇

- ◇身分…特別職国家公務員(生徒) ※学校在学時は、自衛官ではありません。
- ◇衣食住…全員が駐屯地で生活し、宿舎は無料で、食事・制服類・寝具については、支給又は貸与
- ◇手当…生徒手当 96,000円 期末手当 年2回(6月・12月) ◇休日…週休2日制、祝日、年末年始休暇等

※お問い合わせは市町村窓口、または下記へお気軽にどうぞ。パンフレット等もごさいます。

〒785-0041 自衛隊須崎地域事務所 須崎市西崎町325-2 TEL(0889)42-7186

梶原こども園だより

こども園 梶原高校 合同避難訓練

10月9日(金) 梶原高校と合同の避難訓練を行いました。昨年も計画はしていたのですが、天候の関係で中止となり、2年ぶりに実施できました。

10時前、地震発生、そして火災になり、グラウンドに避難している園児のところには高校生が助けに来てくれ、2次避難先の役場まで移動しました。乳児組では手を差し伸べてもらっても泣いてしまう子もいましたが、普段から高校生との交流を行っていたにいたることもあり、園児の多くは高校生に抱っこや手をつないでもらったりと、身を託している様子が伺われました。

役場までの道中に高校の先生方がいて、誘導をしてくださいました。

高幡消防の方も立ち会い、指導助言をいただき、弱者優先の心構えや、高校生がAEDを持参し避難をしていたことの良さなどをお聞きしたので、今後に生かしていきたいと思います。

こども園では毎月避難訓練を行います、グラウンドに避難しています、もし大きな災害となり、園か



ら離れたところに移動しなくてはならない状態が起こった時、園の職員だけで100名ほどの園児を安全に避難できるかという困難に当たります。そこで、今回のように、近隣の梶原高校の力を借りられるということは、とても心強いことだと感じました。関係各位の皆さん、ありがとうございました。

高岡中央ブロック 研修会開催

今年度、県下13のブロックに分かれて開催される幼児教育の「ブロック別研修会」を、梶原こども園が当番園として行いました。県幼保支援課の先生方にこれまでもご指導を受けながら、園内研修を重ね、10月28日(水)には、3、4、

5歳児の幼児組が午前中公開保育を行い、その日の子どもたちの遊びを通して、保育者の援助や環境の協議では幼児理解をしながら研修を深めることができました。この日は、午後の半日を研修会休業日として保護者の皆さんに協力いただいたことで、普段一緒に参加できない臨時職員も午後の研修に参加し、遠く土佐清水や中村からのブロック外の先生方とも共に学ぶことができました。他の地域の情報も知ることができ、大きな成果だったと思います。

梶原学園からも先生が参加いただき、年齢に応じた遊び方や、集団でのルールのある遊びについて、学校生活を見通した観点から参観いただきました。

私達職員が、子どもと向き合う中で、一番大切にしていきたいこ



とは、いろいろな体験を通して、豊かな心情・意欲・態度を培うということ。つまり、「できる、できない」と捉えがちですが、やろうとする、できるようになる「過程」を大切に守り、子どもたちが活動しやすいように意図を持って環境を構成していきたいと思っています。

栲原学園だより 第47号



栲原中学校脱藩マラソン ボランティアとして参加

第4回龍馬脱藩マラソン大会が10月11日(日)に行われました。昨年は、台風のために中止になりましたが、今回は実施することができました。県内外から約1388人が参加し、龍馬脱藩の道を完走しました。

この日は、栲原中学校は、ボランティア登校日として7年生から9年生までの生徒全員が、3カ所の給水所とゴールでランナーの方々のおもてなしをしました。飲み物やおにぎりをランナーに渡したり、ごみ拾いをしたり中学生にできる地域貢献をし、栲原人としての意識も高まったようです。



栲原町・津野町 合同陸上記録会を開催

10月16日(金)、秋晴れの下、初めての栲原町と津野町の合同陸上記録会が開催されました。

栲原小学校は、栲原学園となつて町に一つの小学校となり、昨年度までは、校内での大会となつていました。校内での大会も仲間との絆の深まりなど良い面もたくさんあったのですが、もっとたくさんさんの競争相手の中で自分たちの力をためさせたいという思いや、他校との競い合いの中でより栲原小学校への思いを強くしてもらいたいという思いもあり今回の大会が実現しました。

津野町の小学校は3校で栲原小学校を入れて4校での競い合いでした。どの競技にも栲原小学校の5・6年生の代表選手が力を発揮し、たくさんさんの種目で入賞しました。

中でも今年度初めて競技として加わった各校対抗綱引きでは、みんなが一致団結での応援となりみごと栲原Aチームは優勝することができました。5・6年生みんなで感動の時間を共有することができました。閉会式では、葉山小学校の久寿校長先生から「今回初めて栲原町と合同で開催した大会で栲原小学校の応援がすばらしく、今までになかったよう

なすばらしい大会になりました。」とおほめの言葉をいただきました。来年度もより高い目標をもってがんばりましょう。



「サーウン！」応援にこたえて必死のがんばりです。

いじめ防止教室

10月22日(木)須崎署の山中補導員が来校され、4年生に「人を傷つけることは」という題材でいじめ防止の授業をしていただきました。いじめの事例をもとに被害者、加害者の思いについて考えていくという授業でしたが、活発な意見が出されみんな真剣な表情で授業に参加し、いじめは絶対に許されないということを確認できた45分間でした。



いじめのない学級にするためのやくそく

- 相手を思いやること
- 自分がされていやなことはしない
- 大人の言うことを聞く

高吾地区中学駅伝大会 3位入賞

10月24日(土) 春野運動公園 周回コースで高吾地区中学駅伝大会が行われました。

梶原学園からも8・9年生の男子6名(中越健人・中越寛陽・藤原斗哉・川上晋平・中越蒼空・明神孝亮)が参加し、6区間18キロメートルを走り、たすきを渡しました。どの区間でも上位をキープしながら走り抜き、みごと3位入賞を果たしました。

参加チームは13チームで3位入賞はみごとな成績です。

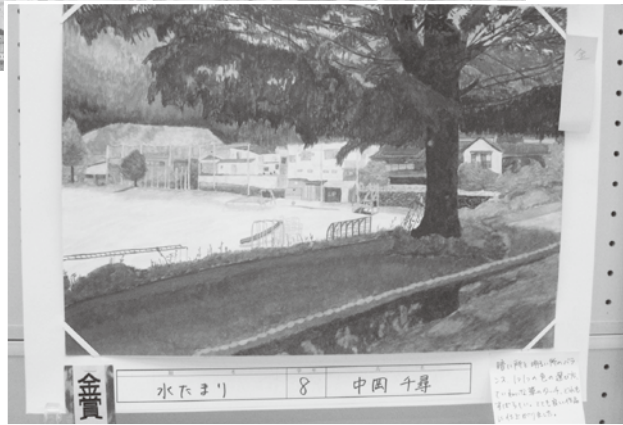
この大会は、第66回高新中学駅伝競争大会の予選を兼ねていますので、11月15日の大会参加が決まりました。高新駅伝競走大会でもしっかりとたすきをつなげ上位入賞を期待しています。



作品展に向けて

梶原学園では、今年度5月からより豊かな創造活動を充実させ、児童・生徒の絵画の技能を上達させるために、教員への指導・助言または、児童・生徒への支援として芸術祭審査員の兵頭先生を招いて図画・美術の学習会や、授業を行ってきました。専門的な立場から構図のとり方や人物画・風景画の下書き、

クレパス、絵の具を使って色塗りの仕方など指導していただきました。特に上級生の指導では、色づくりや光と影の付け方など兵頭先生からの指導を熱心に聴き、芸術祭にむけての作品を仕上げることができました。



スクールガード リーダーのご紹介

梶原町教育委員会では、子ども達が安全で安心して学校に通えるよう、学校や通学路等の巡回を行って、事件や事故に遭わないように見守りを行うために、平成21年度からスクールガードリーダーによる巡回指導を行っています。本町では、久岡健市氏が就任されています。

「こんにちは。スクールガードリーダーの久岡健市です。毎日子ども達の安全を守るために、通学路の立哨指導や、青パトで巡回をしています。子ども達と笑顔であいさつできることが、とても楽しみです。どうか、よろしくお願いたします。」



アレックスの 奇妙な冒険



栲原 町 ALT
アレックスサンダー・ヘイ

第14部：日本とイギリス、文化の違いを感じるこゝ（食事編）

栲原の皆さん、こんにちは。イギリスを含め、世界の他の国でも普通なら見られないような、ユニークな習慣や文化が日本にはありますが、今回は日本ではなく、イギリスの文化について、ちょっとお話をしたいと思います。皆さんにとっては、びっくりすることだったり、「変わっている」と、きっと実感できるような内容だと思いますので…。

ではまず、あなたがはるばる日本から、イギリスの空の玄関口、ヒースロー空港に降り立ったとしましょう。長い空の旅の後ですから、小腹が空いたところではあります。そういうわけで、市街地に出て、ごく普通の飲み屋さんに入りました。まずはパイントグラスに注がれた地ビールを1杯！パイントグラスは、日本の居酒屋などで見られる中ジョッキに相当しますが、「1 パイント=473ml」です。イギリスでは、泡がほとんど立たないように注がれた上で出てきますから、日本の中ジョッキの2割が泡だと考えると、それよりもちょっと多めにビールそのものを味わうことができます（日本の中ジョッキが500ml、泡が2割として、ビールの実際の量は $500\text{ml} \times 0.8 = 400\text{ml}$ 。イギリスで飲めば、1パイント（473ml）のほとんどがビールそのものですから…もう、おわかりですね）。



「ヨークシャテリア」という名前のビール。大学時代、僕がよくお世話になった銘柄です！

日本で、イギリスのビールに近いものを飲むなら「ホワイトベルグ」がおすすめです。

イギリスで外食する上で、一番大事なルール。それは食事に関して、「そもそもあまり多くを期待しないこと」です！そして、メニューの中で一番シンプルに見えるものを注文しましょう。この姿勢で臨めば、出てきた料理はとにかくおいしくいただくことができますし、味付けが薄すぎるとか濃すぎるとか、肉が焼けすぎとか生っぽいか、そういう心配をすることなく、無難な味付けのものを食べることができますから。僕だったら、「フィッシュ・アンド・チップス（白身魚のフライとフライドポテト。イギリスでは定番の料理）」か、ミートパイを注文すると思います。それから食事中は、音を立ててすすったり、食器をカチャカチャ言わせたりしないようにするのが基本です。これをやると、「行儀が悪い」と周囲から見られるかもしれません。でもまあ、他のお客のイギリス人が気づくことはないんじゃないでしょうか。だいたいみんな、ほろ酔い気分で料理をつついていきますから…。最後にお勘定では、チップを置くのがふつうです。金額はお客さん次第で、その店のサービスが、どの程度満足できるものだったかによって変わりますが、食事代の5～15パーセントといったところでしょうか。僕の個人的な考えではありますが、イギリスでは、食べ物よりもお酒に期待する方が、がっかりすることがないように思います。

さあ、お腹もようやく落ち着きました。あなたは、外国での最初の一日を、これでどうにか過ごすことができました。この後、さらにイギリスの文化に触れることになるのですが…続きは、来月のお話をお楽しみに！

（翻訳・日本語修正：森竹 弘喜〈町 ALT〉）

夢・未来館

図書室だより

図書室 開室時間

午前8:30～午後8:00

いつもきちんとルールを守り、気持ちよく図書室をご利用いただいている皆様、本当にありがとうございます。皆様には心より感謝いたします。これからもどうぞよろしくお願い致します。

一方、残念ながらルールを守ることなく、ご利用されている方がいるのも事実です。図書室にあるすべての本は、自分だけのものではなく、図書室を利用されるすべての方々のものです。利用登録をしないままで図書室を利用されている方、今からでも大丈夫なので、登録用紙に記入後、リクエストポストの中へ入れておいてくださいますよう、どうぞよろしくお願い致します。

そして、図書カードを提出せずに本を持って行ってしまっている方、その行為は、窃盗・泥棒と、何ら変わらないということがわかりでしょうか？ひとりでも多くの方に、色んな方に読んでもらいたい…そんな思いを込めて新しい本を、図書支援員が毎月一生懸命選び、予算をやりくりして入荷しています。そうして図書室に並べた本を、図書カードを提出せずに持って行ってしまわれてのを見ると、本当に毎回残念でとても悲しい気持ちになります…。

今までに図書カードを提出せずに持って行ってしまわれた方、お心当たりのある方は、どうかその本を図書室の返却ボックスに戻しておいてください。本を借りてお忘れの方は、返却ボックスに入れておいてくださいますよう、お願いします。

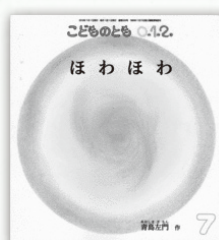
今月の入荷図書



はるなつふゆと七福神

著：賽助

全国の書店員が選んだ「世に出したい」新作!! 本のサナギ賞優秀賞! 笑う門には福来る! …って、全員集合ですか!? 平凡な ニート女子のもとに突然現れた七福神の老人コンビ、福祿寿と寿老人! 神様たちとの可笑しい共同生活が始まった!?



ほわほわ

著：青島 左門

小さな丸が「ぼこ」さらに「ほわほわ」と大きく…最後には「ほわほわほわ」と、画面をはみ出して広がり…。単純な言葉の繰り返し、美しい色の広がり不思議な世界に、赤ちゃんと一緒に浸ってください…。



入門 マイナンバーの落とし穴

著：エコノミスト編集部

マイナンバー制度を分かりやすく、かつ批判的に検討利用者の立場に立ち、素朴な疑問に答える本書だけの情報が満載!!

その他の新入荷本

- ★「察しない男」と「説明しない女」のモメない会話術(五百田 達成)
- ★ママのイライラ言葉言い換え辞典(江藤 真規)
- ★こどものとも0.1.2 くまさん ふうー(飯野 和好)
- ★ぐるぐるぐるーん(のむら さやか)
- ★ならんだ ならんだ(やすえ えり)

編集後記

9月の下旬から10月末にかけて梶原秋の祭典が行われた。

第一弾は9月26・27日開催の第3回グルメまつりと第29回まるかじり大会。両日は町内及び県内外40店舗の出店協力をいただき、2日間で3万人の入場者を迎えることができた。

第二弾は10月11日、全国33都道府県から千4百人のランナーと、宿毛出身のお笑い芸人・間寛平さんと、坂本雄次さんをゲストランナーに迎えて開催した第4回龍馬脱藩マラソン大会。

10月24・25日は第2回梶原町芸術祭。併せて24日は梶原病院・保健福祉支援センター開設20周年記念事業。25日は収穫感謝祭の開催など。

そして最後は30日の東区秋祭りでの、芸術祭実行委員会と神楽保存会・三嶋神社の共催で全演目奉納の津野山神楽で幕を閉じた。

また、先日は高知新聞「声ひろば」に脱藩マラソンに参加いただいた、聴覚に障害を持つ愛好家の投稿があった。前回まではコースの関係で聴覚障害者はフルマラソンの部には参加できなかったが、彼の希望で大会実行委員会が今回から可能としてくれた。

門戸が開けた第1号ランナーの使命として「ケガをせずに完走する」ことを決意してスタートした。コースは延々と続く坂道やゴール前の上り坂。

でも地元中・高校生や沿線住民の温かい声援を得て無事完走することができた、と感謝の投稿も。

こうした事業は、町職員は元より町内各種団体の協力で開催できている。イベントは参加者もスタッフも共に楽しめる催し事となるのなら得るものも一層多くなるだろう。一連の事業完了に敬意を表します。

広報編集委員会

文芸

烏帽子俳句会

巡礼の腰の鈴の音刈田道
千光寺昭子
幾山河命をかけて小鳥来る
岩元 芙美
小鳥来る風なき庭の木々さやぐ
古野 節子
どこまでも限りなき青菊日和
下村 弘花
菊人形厚き衣に顔うづめ
下元 澄子
濯ぎ物乾く匂ひや秋の空
ヒネ・バンビ
街路樹の小鳥の宿となる日暮れ
宇都宮由利子
ヘルパーさん降り立つ門の小菊かな
宮崎真由子
握り飯蛙に頬張り稲を刈る
中越 律子
狗尾草だからこの世は面白い
瀬戸口登貴恵
今日の月見える場所まで布団下げ
西村 智子
雨催い寄ってたかつて稲刈りす
温地あゆみ
弦月や白骨樹林屹立す
岩井 章子

杉の子俳句会

木犀のこぼれる傍に父母の墓
下元 廣幸
コスモスと戯る吾子の笑顔かな
氏原 陽子
コスモスの花占いや来る来ない
西村 幸枝
秋桜百万咲きて俺を見る
野中たねお
洗い髪乾かぬ窓辺十六夜
小崎みなと
マラソンの号砲ひびき百舌啼
影浦 鉄心
前線の名残の波濤秋遍路
内野 純子
コスモスの花だけに射す夕陽かな
久光 義恵
コスモスや泣きたい時もある私
徳永 逸夫
朝歩き楽しみを増す栗拾い
吉村 招山
カルストの牛帰る日や稲を刈る
西村 蒼子
この先は住む人もなく水澄めり
久岡 智子
平成の龍馬駆けゆく菊の里
鎌倉 安弘
菊の花個性豊かに咲きほこり
廣瀬 宗子
稲架ときて煙ひとすじ残しけり
廣瀬 みえ

柚子の木俳句会

神無月帯はきりりと空手の子
佐竹 重子
秋風やいたずら小僧さながらに
西森 誠子
子育てを思いおこせる菊造り
中平 忠雄
七五三草履脱げ脱げ神幸橋
中越 郁子
野地菊ときそいあうよにあわだち草
中越 緑
車座のランナーつまむ栗ごはん
渡辺 瑞枝
スパーマン雲を蹴ちらし白日に
廣瀬 卓雄
断崖に可憐な花よ野地の菊
中越 秋子
秋の夜は高千穂酒をしみじみと
中越 敬久
低音の指さだまらず秋の笛
西村由利子

託老所「陽だまり」

老いの日を泣かすチラシの芸術祭
七〇年苦楽の坂を振り返る
あと二枚曆も薄く寒い朝
決議して後は野となれ山となれ
物言わず賛成異議なしバジジ泣く
バジジ付けばあの日のお願いどこへやら

寄付お礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告を申し上げます。

ふるさとづくり寄付金として

- 岡田慎一郎様 (大阪市)
- 榎木 誠様 (西東京市)
- 隈 研吾様 (新宿区)
- 川上 保志様 (東京都あきる野市)
- 山本 隆昭様 (札幌市)
- 篠藤 利雄様 (兵庫県伊丹市)
- 高山 弘明様 (埼玉県朝霞市)
- 松澤 温夫様 (埼玉県加須市)
- 森定 公子様 (兵庫県尼崎市)
- 伊藤 富雄様 (名古屋市中区)
- 隅田 速雄様 (奈良県北葛城郡上牧町)
- 森田 正之様 (大阪府枚方市)
- 中平 正範様 (青森県むつ市)
- 安田 文明様 (佐川町中組)
- 後藤 紀由様 (東京都練馬区)

広報へのご寄付

その他のご寄付

- 森山 幸子様 (上成)
故・森山清恵氏逝去に伴う
香典返しとして社会福祉へ
- 野村 広幸様 (茶や谷)
故・野村誠男氏逝去に伴う
香典返しとして社会福祉へ

出生	住所	出生者氏名	性別	出生年月日	保護者氏名	
	豊原	下元 ゆな	女	H27.10.6	下元 郷司	
死亡	住所	死亡者氏名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
	広野	明神 元恵	女	H27.10.2	102	本人
	広野	佐近 富子	女	H27.10.7	93	本人
	広野	加藤 文子	女	H27.10.23	95	本人
	茶や谷	野村 誠男	男	H27.10.27	78	本人
松原	久岡 利幸	男	H27.10.28	76	本人	

来年4月開幕!!

2016.4.10 SUN - 12.25 SUN

2016 奥四万十博

四国カルストから土佐の大海原へ

Oku Shimanto

須崎市・中土佐町・四万十町・梶原町・津野町



「2016 奥四万十博」は、高幡広域5市町で開催する、旅の博覧会です。

私たちの暮らす高幡（奥四万十）地域は、豊かな自然や美味しい旬の食べ物、そこに暮らす人々の生活など、当たり前の景色や日常の光景の中に、素朴で魅力的なものがたくさんあります。その魅力を、より多くの方に知ってもらい、ファンになっていただきたいと思います。須崎市、中土佐町、四万十町、梶原町、津野町の5市町がそれぞれ持っている素材を、更に魅力的なものにし、未来へと繋げていきましょう。来年の開幕に向けて、これから本格的に広報活動を行ってまいります！地域の皆さまには、観光客の方への“おもてなし”や“情報発信”など積極的なご参加をお願いいたします。

「2016 奥四万十博」を応援してくれるサポーターを募集するよ☆
どんどん情報を発信しちゃおうよ！って人は協議会事務局まで連絡してね☆
オリジナルグッズのプレゼントもあるよ☆
詳しくは、広報12月号を見てね☆
※個人、団体は問いません。

奥四万十博ナビゲーター
しんじょう君



お問合せ -奥四万十博推進協議会-
☎(0889)59-5225
〒785-0022 須崎市下分甲 263-3

詳しくはWEBで♪

奥四万十

検索

f <https://www.facebook.com/2016okushimanto>

